2011年1月19日

, 1933年12月28日 第三種 郵便物認可 隔週土曜日発行

1部140円(本体133円〒共200 予約購読料 5.000円 紙代のみ 振替 00140-9-145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい。

日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話 03(3202)0546

FAX03(3207)3918

発 行 人 内 藤 留 幸 編集主筆 竹 澤知代志

会議室で開催された。

12月20~21日、

教団

第37総会期第1回常議員

冒頭、第7総会期常議員

教規にないことなので、今後 い。要求陪席という慣習は 教規に則った運営を貫きた

は傍聴として扱いたい」との

る教団を目指したい」との るを得ない。伝道に熱くな のかという危機感を持たざ 教団に伝道2百年はある たのが第7総会」と述べ

沖縄を訪問したい」との希望 ては「可能ならば、早々に 沖縄教区との関係をめぐ ととなった。 の議事において確認するこ れたが「陪席者に関する件」 必要ない」との見解も出さ

る自由と権利はある。

慈郎元教師の問題に触れず 未了廃案となった3号議案 い。伝道と関わっている」 る諸問題は終わっていな 所問題は、 議員会で深めるべき」「伝道 ところは重い。今総会期常 について、内容の意味する ことを再確認したい」「審議 にいくのか。聖餐執行を巡 教団信仰告白に堅く立つ その他「今総会期、北村 議長が率先して そのままでは北村氏との整 見が述べられた。 合性がとれない」 は許されない。 しその後も留まり続け、

団が教区を置くということ 道を開いて欲しい」「教区の か相次いだ。 会議を礼拝で始める 温度差の問題。 などの意見 教 た紙を持ったパフォーマン ネット流出の問題に対処す べき」、傍聴席の状況につい 配布や議場での動画撮影と その他「無断での印刷物 「ヤジと『怒』と書かれ

べきとの要望が出され、

次

間の会議の大半を直接「伝道そのものを巡る」議論に充てた。しかし一方で 具価が問われるのは今後のことだ。 全数連記の投票によって誕生した常議委員会構成を危惧・批判する声は高い ぶりのことなのだろう。次に要求陪席をなくし、教規に合わせて傍聴とした。 これは会議制の回復という観点からは些末な変化ではない。何よりも、2日 陪席・傍聴者の野次が全くと言って良いほど無かった。いったい何十年 体的運営については「教憲・ が述べられた。常議員会の具 回より実施することとなっ

届け出の上、 規上存在しないので認めな する件」では「要求陪席は教 必要とする。資料等は配布 と信徒に限定し、事務局に 議事第3号「第3回教団 議事第1号「陪席者に関 議場の承認を とが報告された。

道する教団への変革を共有 おいて、石橋秀雄議長は「伝 会の運営についての懇談に

方針が示された。

きな転換点。議決を以て確

この件では「紛争後の大

た一方「教規に則った運営 認するべき」との意見が出

に回帰するのだから議決は

総会に関する件」

退席問題について「退席す つけてアピールしていた。 執行を表明するゼッケンを 区の議員たちはフリー聖餐 た件も同様である」「京都教 ない者が議席に留まり続け 断幕によるパフォーマンス 妨害と京都教区議員有志の 上への詰め寄りによる議事 議場を侮辱するやり方 議員資格の では、 原案通り承認。その他につ が選出された。 る件は、選考委員会提案の 究所委員」の各選任に関す 門委員」、 各常議員が選出された。 長崎哲夫、高橋潤、岡田義 関する件」は原案通り承認。 選出の件」は、 いても、別記の通り委員等 第8号「常設委員 より、藤掛順 議事第7号「幹事任用! 議事第6号「常任常議員 望月克仁、小林貞夫の 第9号 | 宣教研 議長推薦に 常設専

などの意 今総会期の運営委員会選出 放センター規約変更」は、 者」の各承認に関する件は 教教育主事認定試験合格 格者」、第2号「キリスト 三役一任。第2号「部落解 を待って、 第12号「春季教師検定合 継続となった。

奴隷貿易船の船長にな

第37総会期第1回常議員会は、何重もの意味で画期的なものとなった。 では、 ほどひどかった」「聖餐を侮 議場の声が聞こえない

士を立てて、総務幹事を中 北村氏の申し立てについて 辱する行為があり、注意. 心に対応にあたっているこ てに対する教団の対応につ 地裁への地位保全の申し立 毅然とした態度で臨んで欲 今後傍聴を認めないなど いて質疑が集中した。特に た者に暴力がふるわれた。 い」等の指摘があった。 議事第5号「総幹事報告」 教団側は代理人の弁護 北村慈郎氏による東京 主に内外諸教会との 兵庫教区訪問につい

画会社から公開される。 資料としてジョン・ニュ てきた。DVDには「ア **へが今年3月に全国の映** 凹)とあり、マスコミ用 メイジング・グレイス」 >Dと原稿依頼が送られ 会社プレシディオからD (2006年イギリス映 アメイジング・グレイ いとのことであった。 トンについて書いて欲 昨年12月16日映画配給

る。ニュートンの青年時 る。この闘いをジョン・ もって闘ったウイリアム 成立させるために信仰を 奴隷貿易禁止法案」を ウィルバーホースであ この映画の主人公は トン牧師が支え の言葉を聞くことになっ ア人であれ、だれもが主 ユダヤ人であれ、ギリシ ウロはエフェソのティラ の講堂で毎日論じた。 アジア州に住む者は、 この驚くべき恵みをパ 伝道とは

難波船の中で、必死に祈 あり、その救いの体験は 、死の危機から救われ は挫折と転落の人生で その後、 重な昼休みに、講堂にや ってきて、熱心に福音を エフェソの人々は、貴 (使徒言行録19章1節)

書物が燃やされた。

魔術がエフェソの人々

ますます勢いよく広ま

、力を増した」と語り

において「主の御言葉が

そして、日本基督教団

ている。この世の価値・ 人なこの世の価値を示し った。銀貨5万枚は、膨

会でありたい。

をし、熱心に伝道する教

れた信徒が、熱心に証し

魔術の書物は高価であ

れる。この礼拝で熱くさ

こで多くの人々が悔い改 々は熱心に聞いた」こ 「パウロは熱心に語り 本に頼って克服しようと していたということにな

个安、その不安を魔術の つことは、同時に生活の の生活の中心にあるとい

なっていきたい。 える「伝道する教団」に 新春メッセージ

罪の中に捨てられた者

驚くほどの 恵みの中で

がある。 私が罪人であり、キリス も決して忘れられない2 ことだ」と告白する場面 薄れ、人生の終わりが近 アメイジング・グレイス 恵みが歌われる。まさに、 ださった。神の驚くべき つのことがある。それは、 だ、驚くべき恵みだ。 い中で、「すべてを忘れて は視力が落ち、記憶が 映画の中で、ニュート は救い主であるという 主は見出し救ってく させることだ。 っきり告白した」(同18 罪の告白をしている。 とは、「悔い改め」を起こ 恵み」を知らされた時、 口が語る「驚くべき主の た。そして、同時に自由 にされたのだ。 彼らは罪から解放され 「自分たちの悪行をは エフェソの人々はパウ

悔い改めて捨てて燃やし であった魔術の書物を、 てた。自分の生活の中心 きり告白」して魔術を捨 盛んな町であった。 八々は「その悪行をはっ エフェソの町は魔術が パウロの福音を聞いた

もなった」(同19節) てみると、銀貨5万枚に 「その値段を見積もっ を増した」のだ。 葉が、「十字架と復活の主 いった」(同2節) の言葉ではなく、主の言 よく広まり、力を増して 御言葉はますますい勢い に歌われる礼拝が捧げら イエスの言葉が、ますま パウロではなく、人間 御言葉が熱心に語ら 勢いよく広まり、力 御言葉が熱心に聞か 神への讃美が高らか

くことにした。

だと感銘を受け原稿を書

この映画は伝道の映画

「このようにして、主の

た。この魔術から、人々 り、人々の心を縛ってい は人々の生活を変える。 は解放された。 る苦悩から自由にする。 わたしたちを縛るあらゆ 生ける神の御言葉の力 魔術から、迷信から、 主の言葉が

使徒言行録が示す伝道

石橋秀雄

使徒言行録19章18

5

20 節

れない罪を犯した者を しのならず者、償い切

今まで生活の中心にあ

長、越谷教会牧師)

第3%会期教団総会議 心から願い、祈る。 本基督教団の姿・受洗統計、

団教勢資料」「数字で見る日

教

財務統計」によって、教勢

の厳しい現状と、近未来予

一れ、「この機を逃してはなら

有していることが指摘さ 来予想がなされ危機感を共 各委員会等で現状分析と将 る

新

理由が述べられた。

第 37 総会期

委員会設置を決議

閉塞打開へ具体的方策提言

第1回常議員会

事第2号として上程され 置する件」が、常議員会議 に第7回教団総会議案3号 「伝道方策検討委員会を設 常議員会への委託となっ 訴えられた。 切羽詰まった現況の打破が うに非常に厳しい言葉で、 測が語られた。

提案理由1では、

次のよ

下記(抜粋)のように提案 道方策検討委員会を設置す な方策を提言するため、伝 期低迷傾向にある中で、日 本基督教団として伝道につ 鈴木功男常議員。「教勢の長 つ付録の図表「日本基督教 いて検討し、当面の具体的 また、客観的説得力を持 提案者は、総会と同じく 議案の内容であり 懺悔しなくてはならない。 をとげたところが多いのを 会の体力は弱まっており となった。その結果、受洗 ない。この間、プロテスタ 者は減り、財務を含めた教 道」が死語とされ、 このまま推移させてはなら 提案理由2では、 「荒野の40年」を歩むこと ト他教会には応分の成長 わゆる教団紛争で「伝 伝道の怠慢を主に 教団は 調した。 堅持する必要がある」ので、 の申し送り事項をしばらく とを集中的に扱う特別委員 模索するためには、このこ 触れ、「伝道委員会には従来 伝道委員会の活動の現状に 「教団が新しい伝道体制を 提案理由4では、既存の

がある」と訴えた。 林貞夫常議員が、「伝道方策 委員会設置について、 審議に入り間もなく、小 伝道

うしても必要である」と強 めの中心点として、伝道を ためには、「教団をあげて伝 ない」とした。 道の方策を練り、体制を整 雄弁に語る危機を克服する 提案理由3では、数字が 試みを共有していくた てのビジョン」が語られる きい視野での「伝道につい て、新委員会設置の是非に の発言を求める」と提案し 留まらず、むしろもっと大 た。これが認められ、ここ そのものについて全常議員 から膨大な時間を費や

| こととなった。 の思いを語った。 常のような時間的制約もな 区議長、要請陪席の諸委員 く、5時間以上にわたりそ 会委員長が、一人ひとり、 に、全常議員、出席の全教 別掲記事 (3面) のよう

手当が必要だということで どを踏まえた多様な考え方 意見が一致していた。 が述べられた。ただ、伝道 への情熱、何らかの緊急な 会が置かれた状況・立場な 少なくとも、この議論では ものではなかった。しかし 誕生した常置委員会である 意外な程に、それぞれの教 ことを危惧する声は小さい 全数連記の投票によって 陪席も含めほぼ全員の

各論ではいろいろ

の賛成で可決された。 会を設置する件」は、 と懸念も表明されたにも拘

名。 伝道委員会より推薦者1 白)、岡田義信(田園調布) 佐男 (札幌)、鈴木功男 (目 張田眞(鳥居坂)、米倉美 (愛宕町)、岡村恒(大阪)

懸案の救援対策基金設置を議決

会を速やかに設置する必要 として速やかに救援体制を | 5条」と並行して「救援対 度救援金を募ってきたが、 は3点が記された。①大規 る件」が上程された。 災害の頻発する中で、教団 模自然災害に対し、その都 提案理由として議案書に

長提案による議事第23号 救援対策基金設置に関す 本常議員会の最後に、 議 件」の内容を早期の実行に 可決された第7号議案「い 庫教区総会より提案され、 事務局規定細則第3条から 移したい。③従来の「教団 す自然災害の発生に備える のちと暮らし、 る。②第35回教団総会で兵 生存を脅か

作る必要が求められてい 策基金に関する運用規定」 内容に加え、本議案が るよう取り組む。 援の初動にさらに対応でき を設置し、 さらに補足説明として内

2次募金)」残金使途に関わ 神淡路大震災救援資金(第 藤留幸総幹事より、上述の

災害発生時の救

る提案であることから、そ | 区からの『新潟中越沖地震

明された。

その役割を終えたものから の6000万円と、関東教 援資金(第2次募金)』の内、 基金は、『阪神淡路大震災救 (補則) 第7条」で「この 議案審議では「運用規定

の対応の経緯についても説

されたら、兵庫教区は60 00万円を返還することに なっている」と答弁した。 て質問された内藤総幹事 指摘もなされた。 いと断りつつ、「議案が決議 議決の可否をめぐって 兵庫教区との対応につい 正式な会議決定ではな

の返金に関する兵庫教区と 長 わらず、「伝道方策検討委員 《職務陪席》岡本知之副議 《委員》招集者·北紀吉 (新報編集部報) 全員

金の返還がない理由につい

する。」と記されている点を 救援募金』の残金繰り入れ の申し出を受けてスタート 巡り、議論が集中した。 「記載の表現では、被災の

募金残金の使途を決したよ が不明になる」との懸念や、 当該教区との協議によって 議されているのに、未だ残 うに解釈されかねず、趣旨 「常議員会で終了が既に決

長はじめ複数から表明され

る」との大杉弘常議員案が は提案理由のなお書きにす

提出された。採決の結果、

見が疋田國磨呂関東教区議

本知之副議長はまず採決の

議案の扱いについて、岡

動議を諮り、賛成多数で採

可決された。

決、原案が賛成多数により 修正案はいずれも少数否 予測不能なだけに一刻も早

る」との北紀吉常議員案と 1年4月1日から実施す トする。運用規定は201 000万円をもってスター で2つの修正案、「基金は2

|運用規定(補則)第7条

り、他方では「災害発生は

く議決すべき」との強い意

たい」との発言を受けて一 は、総幹事の「拙速は避け

方で継続を求める声が上が

ら、確実に執行権者の手元 か」等の意見が述べられた。 の誰も出席していないの になければならない」との から「金額が明記されるな また予算決算委員会の立場 て兵庫教区の見解を尋ねた なぜ教区議長・三役 決が承認された。この時点 松本周報

迅速な対応を! 疋田國磨呂関東教区議長

【予算決算委員会=5名】 屋北)、八木浩史(奥沢)

安)、北川善也(洛北)、成田

常設委員会等委員選考結果

★小堀康彦(富山鹿島町) 【信仰職制委員会=7名】 **★**=招集者、○=信徒 丘)、〇津村正敏(明石)、〇 山上清之 (桜木)、○長島恵 子(鴨島兄弟)、外崎孝(聖ケ

鈴木功男常議員

常設委員会

加藤幹

菅原力 (弓町本郷)、○深谷

藤繁(谷村)、深井智朗(滝野 田邊由紀夫(茨木) 川)、後宮敬爾(札幌北光): 松男(仙台広瀬河畔)、○須 【世界宣教委員会=5名】

教団をあげての伝道を!

人(益田)、具志堅篤(読谷)

修(仙台広瀬河畔)、東島勇 行)、白戸清(野辺地)、望月 夫(阿漕)、田中かおる(安 ★張田眞 (鳥居坂)、 【宣教委員会=7名】

【教師検定委員会=7名】

岸俊彦(経堂北)、大友英樹

(赤羽)、堀眞知子(瀬戸キリ

★小宮山剛(富山二番町)、 【教師委員会=7名】

尸)、小峰擁 (前橋中部)、鷹 ★東理尚志 (聖学院)、 烒田 菅根信彦 (神

川勝(山田)、白井進(神戸栄 スト)、森下耕(洛陽)、井ノ

澤匠(信州)、渡部和使(名古 昌路(狛江)、小林克哉(呉平 ★米倉美佐男 (札幌)、 【伝道委員会=7名】

巌(相愛)

岩田

徹(上尾合同)、横山好江(東 ★木下宣世 (西千葉)、秋山 大学)、清弘剛生(頌栄) 京新生)、越川弘英(同志社 宣(代々木中部) 宮下重康(玉川)、 ★伊藤瑞男(大泉ベテル)、 常設専門委員会 、〇小平正 いうし(磐上)、〇斉藤仁一 ★黒田若雄 (須崎)、 (山都)、川崎善三 (米子錦 【教育委員会=7名】 【社会委員会=6名】

、北畠友

信一(海老名)

【年金局理事·監事】

念)、熊江秀一(新津)、寺田

長谷川洋介(石岡記

武(門司)、清藤淳(和歌山) ★釜土達雄(七尾)、森田恭 郷)、向井希夫(大阪聖和) 正(信夫)、〇平田和子(吐田 宮地健一(向日町)、塚本一 (今津)、山本一(神戸多聞) 一郎 (遠州栄光)、上森俊明 責任役員·会計監査委員】 俊美(秋田桜)、小橋孝一(新 谷)、岡本知之(西宮)、雲然 島)、長山信夫(銀座)、高橋 《責任役員》代石橋秀雄(越 【宗教法人「日本基督教団_

【宣教研究所委員会=7名】 (中日市)、 《会計監査委員》服部能幸 《理事》★小島誠志 (松山番 【出版局理事·監事】 (伊勢原)、○岩澤嵩(銀座)

京)、○髙橋豊(西東京)、○ 義一(大阪)、○津村正敏(兵 田國磨呂(関東)、岸俊彦(東 羽)、〇遠藤道雄(東北)、疋 上昌保(北海)、邑原宗男(奥 《理事》★○籔田安晴、○井 (東海)、○大杉弘(中部)、○

町)、北紀吉(愛宕町)、飯塚 光)、〇橋本徹(聖ヶ丘) (鎌倉雪ノ下)、〇持田二郎 (池袋西)、○濱井武(埼玉和 /監事》坐問豊、○山本晃 ○望月克仁 教区代表)、内藤留幸(総幹 田浩二、〇川原正言、(沖縄 島敞史 (西中国)、黒田道郎 | 男(四国)、多田玲一(九州) (四国)、川畑馨(九州)、○池

神学大学)、飯田敏勝 (大

正(美竹)、神代真砂実(東京

拓也 (竜ヶ崎)、

★宮本義弘 (沼津)、上田光

庫)、小松茂夫(東中国)、柴 生地善人(関東)、亀岡顕(東 森田喜之(中部)、川上盾(兵 準(神奈川)、宇田真(東海)、 阪)、中田正道(北海)、江戸 京)、河村博(西東京)、井殿 清(奥羽)、片岡謁也(東北)、 《運営委員》★○東谷誠(大 員·監事】 【部落解放センター運営委 《監事》勝田正佳、寺門文雄 委員会】 一(梅ヶ丘)

推進委員】 《監事》森なお、〇駒木和男 【「隠退教師を支える運動」

《委員》★小橋孝一(新島) ○宮澤淳子 (須坂)、○森啓 カネコ(膳所)、〇鈴木秀信 ○井上昌保(野幌)、○奥野 【在日韓国朝鮮人連帯特設 (船橋)、○滝川英子(七里)、 「委員》★○大杉弘 (若草)、

聖書学校吉川)、〇小林貞夫 (清水ヶ丘)、深谷春男(東京 長山信夫(銀座)、島田勝彦

田もゆる(西中国)、野村和

(甲部)

題であった。伝道を教会の

教

報

「日本の社会構造の変化

すべき」と訴えた。

ればならない』

員が次のように思いを述 言に方向付けをした格好と 発言は座席の順番に行わ 結果的に、この後の発

献金を集めて、

教会を建て

であり、

その相違を認め合

いながら信仰告白で一致す

信仰の一致は画一化ではな の一致がなかったからだ。

ーブメント」と5つの課題 教師が手を携えて伝道のム 立てそれを守る、⑤信徒と

る」と所感を述べた。

に出ることで、歴史的必然

石橋秀雄議長は、「熱く語

聞き合えたことに感謝

に立った伝道者養成を整え こまでも支える。 福音信仰

の真摯さが伝わってきた。

全教団的伝道方策が全面

い、多くの教派の合同教会

を上げ、

をいろいろ言う前に、伝道 できない。伝道の進展して ない。1964年の宣教基 いる教派もある。伝道方策 個々の教会が孤独に陥らな 国教会の現状を説明し、 いために教団的視点が必要 寺岡恭仁子常議員は、四 大村栄常議員は、西東京

上げ、「機構改正以前の『方 教区の立川開拓伝道を例に

伝道への熱い思いを語り合う

喜びを伝えること」と述べ 区へ、教区から各個教会へ 神学校の伝道者養成、 が必要」と主張し、また 生かされるような取り組み めの理論武装、教団から教 が牧師と一緒に伝道するた 「伝道は結局一人ひとりが 信徒

いう事実を例に上げ、「3人 籍を多く売り上げていると 第一の方法は伝道すること すべき。教団が世に仕える 根本に伝道基礎理論を確立 理解している。伝道方策の 利己主義と絡めて否定的に 張した。 教団の態勢への変革」を主 式伝道』ができるような、

か。『大伝道命令』が根本。各 宣教の課題が『何々しなけ の課題は、福音の根幹から 徒を疲弊させてはいない 出てこなければならない。 の響きになり、各教会・信 区も宣教基本方針を見直 長山信夫常議員は、「宣教 という律法 現実によって破れを抱いた るのが牧師であり、社会の の抜本的な体質改善、 双方の立場の人間が教会へ にする人にも届く言葉を語 体験から、「政治的立場を異 ではないか」と指摘した。 動しているつもりになるの の顔の見える関係」を唱え、 150年の委員長を努めた 「委員会をやっていれば活 島田勝彦常議員は、「教団 小林貞夫常議員は、伝道

なるものでもない」と述べ、 がらなかった。方策でどう 社会運動をして、教会は拡 会の体質改善』という名の 教団紛争と教勢低下の関 江本義一常議員は、「『教 する」とした。

が低迷しているのか」を問 係」、「他教派や韓国の教会 松尾亨常議員は、「伝道の

熱意に燃えた人を育成する

(3)

標を述べた。 洗者が生み出されれば」と、 具体的数字を上げて伝道目

ている。伝道は礼拝におい

てなされる」と、「福音を

の世の中に対して礼拝をし

2日間にわたり5時間以上を割き

提案し、また「伝道のため 楽しく語る教会、伝道の信 績である) 1億5千万円の 縁社会への伝道の発想」を 教団であってほしい」と訴 頼関係、協力関係の築ける にこそ、(災害援助献金の実 佐久間文雄常議員は、「無 要」があるとし、 に進めるべき」とした。

要だが、十字架の贖いに徹 化がある」、「伝道は十字架 リネスの伝統には義認と聖 る」べきと述べた。 教会は教会でなくなる」と の贖いに始まり終わる。こ し、「教会と国家の問題も重 深谷春男常議員は、「ホー

なければならない」と述べ 来る、そこに福音が語られ

について教団のスケールで んだ教会へ赴くなど、任地 のある牧師が、高齢化の進 教区の実情から、「キャリア 万策を考えるべき」と唱え 篠浦千史常議員は、四国 れた時、それを片付けたこ

の出版社がキリスト教の書 る教団であることを伝え 0余の教会に、 伝道に燃え する」とし、伝道熱意に地 域間格差がある中での協力 高橋潤常議員は、「170 危機感を共有

を出すのが教団である。日

東

道の対象としての中高年」 韓国の中高生との交流、伝

> が、同時に喜びである」と 奥羽の地での伝道は困難だ

員長、教区議長も同様に伝

この後、要請陪席の諸委

道についての所感を語っ

伝

髙橋豊常議員は、「①礼拝

が方策で前進するのか」と

岡本知之副議長は、「伝道

た。詳細を報告するには紙

面に余裕がないが、それぞ

疑問を投げかけたが、一方

②牧師と共に

の位置で伝道を考える必 考えていく」ことを「一緒 なことと、伝道基礎理論を ないというのではなく、そ 別の理由を上げて、仕方が れぞれのレベル、それぞれ 古屋治雄常議員は、「何か

あるだろう」と述べた。 げ、「聖霊信仰、復活信仰、そ えていけるか」を課題に上 教会を、教会が協力して支 の喜びを教団全体の喜びと れを共有できる部分はまだ 会の枝である自覚、受洗者 して分かち合うこと。無牧

2日目も、このセッショ

ける各常議員の発言を冊子 る」と述べ、「本議事にお

提案した。

教師・信徒と手を携えたい。

教会でさらに熱く語られる する」と感想を述べ、「諸

も述べられた。

(新報編集部報)

ではないかという危惧の声 独自の伝道が損なわれるの を負ってきた教区や地域の

年金局を守るなど具体的. 師の謝議についての配慮

会の散雪用水路が雪に埋も れないところで、伝道協力 強調し、「信仰の一致が見ら 罪の贖い』による救い」を はなし得ない」と述べた。 河田直子常議員は、「教会 大杉弘常議員は、一若草教 かない『十字架による

討は他の部分に任せて、伝 行動が先だ」と一理論の検 ら「教団は口を出すけど、 活は始まった」と、体験か とから自分の奉仕と教会生 道の実施について取り組ん 作業はしない。方策よりも でいく組織であってほし 支援する、

方策をペー

きちっとした説教者、 ンは延長された。

としては、教会学校と青年 として伝道基本方針の作 伝道、教区ともどもに伝道 の中心を回復させる。各論 ことだ」と意見を述べた。 伝道は具体的なことをする い。こまめに集会をする。 岡田義信常議員は、「総論 紛争で見失われた伝道 伝道者養成の神

本の現況や世代間格差を分

全員がそれぞれに伝道の幻を語る

岡村恒常議員は、「全体教 会の規模を縮小してでも、 道するのではない。教団総 付けられない」と述べた。 し、「一言に教区間格差と片 に東北教区の状況を説明 伝道の財源を出したい」、更

> ④教区は教団と共に教会を 師を立てその生活を守る、 最前線で伝道、③教団が教

> > の事業仕分けをしなければ

杯伝道していることを訴え

制約が多い中で、今も精一 れの立場・状況を説明し、

る議長が多かった。伝道へ

で「戦略的に伝道を。教団

ならない。地方の伝道をど

となる。信徒は御言葉を聞 を求める人は大勢いる。子 を語る者を立てる。財政的 く機会を多く持ってほ. 教会が元気になる会を。付 行いたいとき、それを支え 育て世代の母親などが対象 に厳しい教会が伝道礼拝を 北紀吉常議員は、「教団が

善という意味ではない。

大学がある西東京の八王子 ・多摩地区を例に、 川原正言常議員は、30の 「全国 学に勤めた。

遺族は夫・荒

学校と教団との関係、

喜びを与える説教を の年齢構成、東京神学大の 上げた。 告白の一致と連携強化」を 財政等から近い将来に必ず

から送られてくる学生に対

地方と都会の伝道協

の実を結ぶことを願う。実

全体教会としての伝道協力

声を中心に。伝道基礎理論 冊子化もぜひ信徒常議員の

について、宣研の取り組み

雲然俊美書記は「教団が

情を知り祈り合っていく。

を」と語った。

知恵を結集すること」を訴 力を、教団で出来るだけの

は全世界対象であり、成果 要を強調、また「宣教命令 力を出し得る、財源・組織 の上がりそうな所だけに伝 人材を育成すること」の必 へと教団を改革すること、 意味がない」とし、「伝道 高橋和人常議員は、「伝道 パーで出しても 道者の育成を訴えた。 帯金が破綻したのは、信仰 は信仰の一致。教区活動連 協力にどうしても必要なの 神大の財政を信徒一人ひと 起きる教師不足を考えなけ りが支える決心を」と、 ればならない」とし、 藤掛順一常議員は、「伝道

るために、教団史(教団の 活動の具体例を上げて説い 行して行うべき」と提唱し、 創立時の確認)の作業を並 団的・全教区的に盛り上が た。本気でやるなら、全教 方への違和感を最初にもっ らよい」と提案した。 実際に見聞きした諸伝道諸 『方策』という言葉の使い 長崎哲夫常議員は、「伝道

でなくてはならないと主張 のことを踏まえた伝道方策 本の伝道史の中から多様な 主義である」と主張し、日 合教会の性格は、フォーサ イスなどを頂点とする聖書 伝道戦略を紹介し、これら また、「各個教会主義は独 組 年信濃町教会に赴任、富坂 年青山学院大学を卒業、 歳。山口県に生まれる。 キリスト教センターを経

10年11月2日、逝去。

就(主)吉沼詳夫

正教師登録 事務局報

消

三上裕二氏(無任所教師)

10年10月25日、

年東京聖書学校を卒業、 年都農教会に赴任、志木教 歳。埼玉県に生まれる。 長谷川渉 大澤 香、永倉直嗣

で桜ヶ丘教会を牧会した。 遺族は、兄・三上博次さん。 6年より6年ま 野口忠子、加藤智恵、 但馬秀典、西川和子、 岡田いわお、管家英治、 (2010:11:22受按)

会を経て、

荒井英子氏(恵泉女学園大 日本キリスト教協議会 (2010:11:23受按)

女子聖学院中学高校 辞(教)小島由紀子 辞(代)桑原睦彦 辞(教)飯島

新得 清瀬旭が丘辞(代)田中友敏 就(兼主)磯部紀代子 辞(代)磯部紀代子 就(主)猪野正道 就(代)白崎智之 辞(主)芳賀康祐

西宮聖光 辞(主)朴 敬和 辞(担)朴 泓 善

お知らせ

相談会のお知らせ一原理問題

題相談会を開催します。同 問題でお困りの方はお越し 左記のように統一原理問

◎場所 日本キリスト会館日(金)午後1時~3時四日日(金)午後1時~3時日(金)日時日(金)日日(ください。 4階会議室

◎交通 地下鉄東西線早稲 ◎主催 東京地区原理問題 2-3-18、電話03-田馬場駅前より早大行き 田下車、あるいはJR高 3003-4069) 連絡会(新宿区西早稲田

(1)1934年

31956年・秋田一番

町教会(現秋田高陽教

ことを願い求める。

(4)書道・音楽 (バッハ、

会) · 塩谷嘉綱牧師

2)青森県青森市

団が主を愛し主を畏れ

つつ教憲・教規に立つ

(1)1937年

(6)一致して伝道・熱い教

1編453番

5テサロニケの信徒への (4)山歩き、音楽、企画癖

手紙 | 5章16~8節

(2)名古屋

(3)1961年·目白教会

篠原金蔵牧師

鈴

木₺

功

男ぉ

目白 東京 教 会

常 徒

望^も

月き

克っ **仁**と

鎌倉雪ノ下教会神奈川教区

川かわ

原6

遠ん

藤っ

道み 5

雄ぉ

福島伊達教会 東北教区

河か

直な お

子こ

蕃山町教会 東中国教区

わ 田だ

(2) 出身地 (1) 誕生年

(4) (3) 趣味 (年、 5愛唱聖句(聖書箇所) 讃美歌

◎順不同

(6) 抱負

(2) 東京 (1)1932年

教会、

牧師

31961年・鎌倉雪ノ 下教会・松尾造酒蔵牧

(4)スキー、テニス

10章7節、ガラテヤの 信徒への手紙6章2~ を心としたい 【讃美歌第二編1番】

置ま 田だ 義し 信ぶ 田園調布教会 東京教区

江え

本と

義し か

茨木東教会 大阪教区



(2)東京都 (1)1939年1月2日

5ローマの信徒への手紙

する。

り、風景を楽しんだり 色々なことを考えた

13 章 12 節

③田園調布教会・194 3年信仰告白 · 岡田五 1年幼児洗礼・195

教

(31960年·新居浜西

部教会·藤川武治牧師

②山口県岩国市

-935年

(6)教団の教勢低下は目を

21 · 57番

(4)散歩。毎日ではないが

て進まない。何とかし

いるが改善は遅々とし 団の問題は山積みして 覆うばかりである。教

なければならないと思

(4)過去:テニス・ゴルフ

時間かけて散歩する。

っている。

かなり遠くまで3~4

健康のためでもあるが

松ま

尾ぉ

予な

青森松原教会

(5)コリントの信徒への手 6全国の教会・伝道所に 紙3章3節 現在:事業 番(1955年版) Ⅱ編331番、338

とに努力を注ぎたい。 告白と教憲・教規にお おける福音伝道の業が いて教団が一致するこ 前進するために、信仰

小ぱ 林し 貞さ

だ

夫ぉ

日下部教会 東海教区

髙か

橋し

豊たか

白鷺教会 西東京教区

500ーマの信徒への手紙

5章3~5節

大_おがが 杉ぎ

弘

若草教 文 会

一致はいずこに?

Ⅱ編338番

⑥①教師とともに重荷を



(3) 1931年·日下部教

(4)趣味は「教会」という 会・小野善太郎牧師

(4)ピアノ演奏・バッハ教

高倉徹牧師

会カンタータを毎日聴

(6)聖礼典の一致を確立 集まりを強化したい。

(3) 1 9 5 5 年·岩国教会· (2) 愛媛県西条市

(2) (1) 1937年

章 20 節 が形成できるように、 -編494番

⑤マタイによる福音書17 6伝道に熱く燃える教団 歩まれる主について行 れるように、先立って 全教会が力をあわせら

正 $_{\dot{\epsilon}}^{\scriptscriptstyle{\sharp}}$ **言**り 南三鷹教会西東京教区

きたいと思います。

(1)1933年4月2日 ③受幼児洗礼、信仰告白 1961年4月・福島

5エフェソの信徒への手

(6)各委員会が教団の教憲 紙4章3節、5章1節 早く教団の諸活動に加 21 · 405番 告白しつつ活動し、更 教規に則り信仰告白を わることを切に祈る。 に、沖縄教区が一日も

(2)香川県高松市 1950年

(5)詩編139編、イザヤ (4)読書·音楽&美術鑑賞· (3)1986年·蕃山町教 会・秋山徹牧師 リピの信徒への手紙3 茶道(裏千家) 書43章1~5節、フィ

れますよう、どうかお 祈りでお支えくださ

6)御子の血によって贖い 取られた神の教会の群 章 12 14 節 切にして、伝道に励め 21 · 442番 だ若く小さな私です。 ますように(信仰はま のつとめを何よりも大 ただ主のために用いら れが信仰告白によって 致し、説教と聖礼典

伊達教会·本宮幸四郎

(4)オカリナ、水泳、最近

筆でお習字

③1952年・鹿児島城

南教会·澤田鈴歳牧師



を展開したい。信徒の し、大胆で多様な伝道

佐さ 久間 ま 文ぶ」 雄ぉ



5コリントの信徒への手

モーツァルト)

(3)1960年4月17日· (2)東京都世田谷区 5ローマの信徒への手紙 21・513番 (歌詞は 12章1~12節 編332番)

(6)教団の各教会・伝道所

が更に伝道する教会に

なることを目指し、教

21 紙 6章0

教会・吉本斗川牧師 志木教会に所属 1967年より現在の 国際基督教団 代々木 い」を伝えたい。

志木教会 関東教区 (4)ゴルフ、カラオケ、旅

⑥主の再臨を熱望しつつ 主の栄光を表すものと たい。愚直に信仰告白 に立って「十字架の救 して微力ながら参与し

(2)香川県高松市

(4)読書、旅行

野町良夫牧師

寺で

⑤コリントの信徒への手 紙 | 13章13節 Ⅰ編288番

で地方の普通の信徒に えられたい。 さった方々の祈りに支 御言葉と送り出して下 何が出来るか。聖書の

岡_か 恭< 仁子 屋島教会 四国教区



(3)1956年·高松教会 (6厳しい対立と不信の中



②教師と信徒の絆が深

められてゆく教団。

④教団年金を守りぬ (2)石川県 (4)ウオーキング (3)1973年·若草教会· 井上良彦牧師

6第7回日本基督教団総 会は、主題に「教団の 4版に拘って) Ⅰ編288番 (195 (1)1933年

③教師を立て教師の生

活を守ることを最重

5詩篇2編(1955年 言を語り、牧会がなさ あった。どのような聖 御霊の導きを渇望しつ その教区の信徒らの思 れているのだろうか。 り、教職が揃って聖餐 つー」を掲げた。しか に与らなかった教区が いは如何ばかりであろ し、退席した教区があ

致を求め、御霊の導き うか。悲しい。 を求めて祈る日々を過 ひたすら、信仰の一

